

## At a Glance

SBI グループの事業概況(2014年3月期)

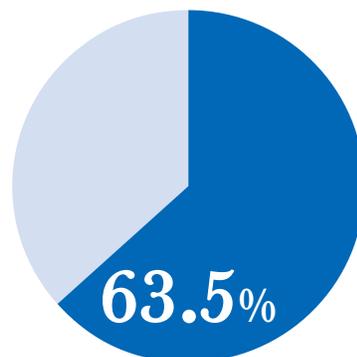
事業名

事業別の営業収益構成比

### 金融サービス事業

インターネットを通じた  
革新的で利便性の高い  
金融商品やサービスを提供

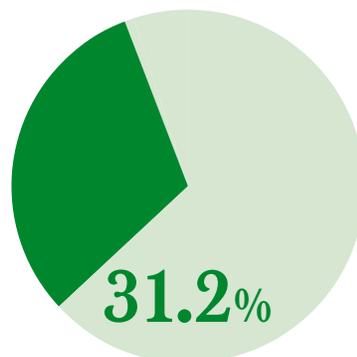
- 証券関連事業
- 銀行事業
- 保険事業
- 金融メディア関連事業
- クレジットカード事業



### アセットマネジメント事業

国内外のITやバイオテクノロジー、  
環境・エネルギー及び金融関連の  
ベンチャー企業等へ投資

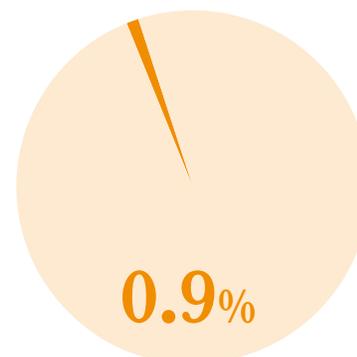
- ベンチャーキャピタル
- バイアウト投資
- 海外における投資事業
- 海外における金融サービス事業



### バイオ関連事業

様々なパートナーとの連携によって  
医薬品、健康食品及び化粧品の  
研究開発・製造・販売を展開

- ALAを用いた医薬品・健康食品・化粧品の研究開発
- 最先端のバイオテクノロジーを駆使した新たな医療、医薬品の研究開発



※その他の事業として、投資用収益物件の開発と販売やインターネットによる仲介サービスサイトの運営等を行う住宅不動産関連事業などがあります。

営業収益

1,478億円

前期比

345億円  
up

税引前利益

373億円

前期比

186億円  
up

市場環境の追い風を受け、SBI証券、SBIジャパンネクスト証券、SBIマネープラザ、モーニングスターが過去最高益を更新したほか、SBI FXトレード、SBI少額短期保険が通期黒字化を達成。金融サービス事業全体として、営業収益は前期比30.4%増の147,835百万円、税引前利益は同99.0%増の37,298百万円となり、大幅な増収増益を達成しました。

金融サービス事業においては、証券・銀行・保険事業を中核とする金融コングロマリットとして安定的に収益を生み出す生態系の完成に向けてブラッシュアップを行う

営業収益

727億円

前期比

397億円  
up

税引前利益

90億円

前期比

27億円  
up

第4四半期において保有するバイオ関連銘柄の株価が急落したことが業績の下押し要因となったものの、韓国のSBI貯蓄銀行がIFRS連結ベースで大きく業績に貢献したほか、好調なIPO環境に支えられ、通期では営業収益は前期比120.3%増の72,725百万円、税引前利益は同43.6%増の8,990百万円と増収増益となりました。

アセットマネジメント事業では、海外資産運用を拡大させ、国内外で投資事業を行う世界的なプライベート・エクイティ・ファームを目指す

営業収益

22億円

前期比

12億円  
up

税引前利益

△24億円

前期比

15億円  
up

SBIバイオテックの完全子会社である米国クォーク社が予定していた一部成功報酬の受領が2015年3月期以降にずれ込んだことにより、通期黒字化の達成はなりませんでしたが、営業収益は前期比126.3%増の大幅増収となる2,195百万円、税引前損失は2,432百万円で前期に比べ約15億円の大幅改善となりました。

21世紀の成長産業の一つであるバイオ関連事業において、国内外で医薬品、健康食品並びに化粧品等の開発・販売を推進し、当社グループの新たな基幹事業への育成を図る